

IT日和

イラスト 山本コウカ

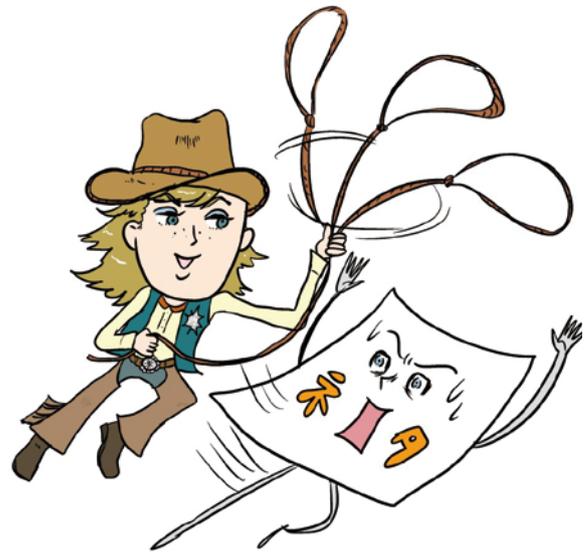
Vol. 35

バーチャル
YouTuber



※この漫画はフィクションです。

『特別解説』テーマ募集!!



計算速度が1万倍に? 仮想通貨が暴落するの? 「特別解説」はそんな気になるニュースの学術的背景をタイムリーに分かりやすく解説し、好評をいただいています。読者の皆様からもテーマを募集しますので、情報処理の専門家に解説してほしいテーマをお寄せください。掲載は3カ月後くらいになりますので、ニュースは新鮮なうちに、思いついたらすぐお知らせください。

投稿先

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail:editj@ipsj.or.jp

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.59 No.3 (Mar. 2018)

【特集：若手研究者】

- 特集「若手研究者」の編集にあたって 山名早人
- 協調的なデザインを体験するためのプログラミングツールと活動の設計 八城朋仁 他
- A Comparative Analysis of RTOS and Linux Scalability on an Embedded Many-core Processor Yixiao Li 他
- 開発状況メトリクスを用いた OSS 不具合修正時間予測モデル 伊原彰紀 他
- Silk Road : A Framework for Distributed Collaborative Simulation Jiachao Zhang 他
- Evaluation of Farmers Market Information System to Connect with Some Social Stakeholders Isakwisa Gaddy Tende 他
- A Proposal of Highly Responsive Distributed Denial-of-Service Attacks Detection Using Real-Time Burst Detection Method Shotaro Usuzaki 他
- 3種の活動量計の比較による活動量認証モデルの評価 鈴木宏哉 他
- 異なるモダリティ間の双方向生成のための深層生成モデル 鈴木雅大 他
- 拡張1次元歩行者モデルの構築と交差点における歩車混合交通シミュレーション 藤井秀樹 他
- Mining words in the minds of second language learners : learner-specific word difficulty Yo Ehara 他
- スポーツにおけるネタバレの特性調査と判定手法の検討 白鳥裕士 他
- DP マッチングのコストに視線情報を反映させた楽譜追跡システムの構築 寺崎栞里 他
- クラシックギターコンクールにおける選曲支援のための演奏プログラムに関する研究 飯野なみ 他
- 奏法を考慮した箏演奏学習支援手法に関する考察 土井麻由佳 他
- 独立した音楽と映像に対する印象評価と音楽動画の印象の関係性に関する研究 大野直紀 他
- スペクトログラムの階層的クラスタリングを用いたタイムスパン・セグメンテーション抽出について 澤田 隼 他
- Latent Topic Similarity for Music Retrieval and Its Application to a System that Supports DJ Performance Tatsunori Hirai 他
- 効率的な楕円弧選択と幾何学的 MDL による楕円弧統合を組み合わせた楕円検出 益崎智成 他
- 単眼カメラと汎用センサ統合による都心部の高精度推測航法 武山洪二郎 他
- 周辺視野への視覚刺激提示が時間評価に及ぼす影響 松井啓司 他
- Novest : 測距センサアレイによる手の甲上での指位置推定システム 石川 優 他
- Design and Implementation of a Positioning Learning Support System for Violin Beginners, using True, Vague and False Information Marimo Kumaki 他
- まち歩き型の情報収集に対応した防災マップづくり一貫支援システムの提案 榎田宗文 他
- A support system for nursery staff shift scheduling - A case study at a nursery school - Mari Ito 他

【特集：運用でカバーする時代の終焉へ向けてのインターネットと運用技術】

- 特集「運用でカバーする時代の終焉へ向けてのインターネットと運用技術」の編集にあたって 石橋勇人

- イベントネットワークにおける syslog を用いた異常検知手法の提案と実データを用いた評価 阿部 博 他
- リクエスト単位で仮想的にハードウェアリソースを分離する Web サーバのリソース制御アーキテクチャ 松本亮介 他
- 小型コンピュータと画像処理技術を活用したネットワーク機器監視手法の提案と実装 小川康一 他
- 秘密分散法を用いた次数変化のない秘匿計算手法 神宮武志 他
- ホワイトリストを用いた自律進化した防御システムの開発 重本倫宏 他

【一般論文】

- DVFS 使用下における余剰時間を利用した最上位キャッシュ切替によるキャッシュ消費エネルギーの削減 齋藤 郁 他
- Evaluation of Three Quads using Matrix Transpose † Jiachao Zhang 他
- SAT ソルバを用いた組込システム用マイクロコントローラのための内蔵周辺モジュール割当て法 † 角川裕次
- イベントツリーとディフェンスツリーを併用した標的型攻撃に対するリスク分析手法の提案と適用 相原 遼 他
- Supervised and Unsupervised Intrusion Detection Based on CAN Message Frequencies for In-Vehicle Network Takuya Kuwahara 他
- OpenStreetMap を用いた協同編集可能な地域安全マップシステムの試作 早川知道 他
- 通学路への防犯カメラの導入に関するアンケート結果の分析 吉浦紀晃 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト

(Mar. 2018)

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.11 No.1】

- 逆方向カット・エッジのない最小カットを求めるアルゴリズム 神保 潮 他
- 時空間ブロッキングを用いたアジョイント法の高性能化 ~ Forward と Backward の計算 ~ 池田朋哉 他



【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.11 No.1】

- 共同利用施設における実験終了後の研究成果数予測 神辺圭一 他
- Fully Convolutional Network を用いたインフラ点検におけるひび割れの自動検出 木村宇任 他
- 口コミに着目した情報拡散モデルの提案及びデマ情報拡散抑制手法の検証 池田圭佑 他
- Implementation of Computing Partial Singular Value Decomposition for Principal Component Analysis using ARPACK Masami Takata 他
- 多群出現順位統計量に基づく時系列データの変換 山岸祐己 他
- セルオートマトン上の実時間数列 $\{n^3 | n=1, 2, 3, \dots\}$ 生成アルゴリズムの正当性について 上川直紀 他





今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「深層学習とは異なる、独自の『共感性 AI』共同研究のススメ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■元気を与える前向きのコラムで本会誌の巻頭にふさわしい。
(南谷 崇)

特別解説「Twitter で書くことと読むこと」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■多くのユーザが経験する現象の解説にとどまっていた残念。本会誌の特別解説としては情報科学の視点による分析、あるいは心理学の視点からのヒントが欲しかった。
(南谷 崇)

■細馬先生の Twitter に対する解説には強く共感しました。
(匿名希望)

小特集「私たちの未来」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■想像をかきたてられた。短くて意味が分からないものも多かったが。
(匿名希望)

■ドローンによる「空の産業革命」が楽しみである。(長山知由理)

■多種多様な分野の方々の考えを知ることができ、面白かったです。
(梅田博之)

■ちょうど新年を迎えるタイミングで、少し先のことを考えながら楽しく読ませていただきました。
(阿部一晴)

「2. 経済の未来」

■経済学的前提は偽なので何を言っても真だが、この記事はデタラメすぎ。
(匿名希望)

「6. 芸術の未来」

■面白かった。今後新しい技術を得て、芸術家がどのような創造性を発揮するのか楽しみに思った。
(匿名希望)

「9. 交通と都市の未来」

■交通と都市が進歩し、人々が移動の束縛から開放されることで、より明るい未来が訪れるのではないかという記事の内容に共感しました。
(匿名希望)

「14. 情報セキュリティの未来」

■「攻撃者が AI の活用を始めると、対策はさらに困難になるだろう」と暗い部分がかかれていますが、「防御する側も AI の活用を始めることで、より効果的な対策が可能になる」などの明るい部分もあるのではないのでしょうか。
(匿名希望)

特集「脳情報科学が拓く AI と ICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■非常に読み応えがありました。書評も脳科学に関するものであり、会誌として統一感があったように思います。全体として脳情報科学と情報教育の 2 本柱という感じでよかったです。
(三木清一)

■今回の脳科学の記事は難しかった。分かりやすい表現がもう少し欲しかった。
(匿名希望)

「3. 脳情報を読み解く」

■脳内情報表現と人工知能に関する最新の研究動向について、非常に面白かったです。
(匿名希望)

シニアコラム「IT 好き放題：IoT と流行フレーズ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■20 年以上前の学会の話を引き合いに出しておられ、シニアコラムの存在意義はまさにこういう面にあると感じながら興味深く拝読しました。
(匿名希望)

教育コーナー「べた語義：写経プログラミングをめぐる終わりそうもない論争」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■写経プログラミングについてはさまざまな主張があり大変興味深いテーマです。新学習指導要領でプログラミング教育が目されていることなどから、可能であればぜひ特集を組んでいただければと思います。
(匿名希望)

■英語も数学も得意ではなく、まったくプログラムを行った経験もない人たちにとって、いわゆる写経で『プログラム』を動かすことは、コンピュータの動きを知る重要な機会だと思っています。普通に話す言語でも、文を暗記して練習することが必要なことから、「写経」は有用と考えます。ただ、普段から英語を使い、アルゴリズムが理解でき、何らかのプログラムを経験している者には、写経よりもプロジェクトなどで問題解決から入った方が効果的な気がします。これは単なる個人の感想なので、仮説として正しいかは検証していません。データを使った広範で精緻な分析が必要だと思います。
(匿名希望)

連載「ビプリオ・トーク：ブルーストとイカ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■非専門家にもよく読めて、秀逸でした。
(佐々政孝)

会議レポートについては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■会議レポートで学会のトレンドが分かったのが面白かったです。(匿名希望)

「IEEE COMPSAC 2017」

■今年、東京で開かれるということで興味を持っていた国際会議でしたので、このような会議レポートは大変参考になりました。(匿名希望)

連載漫画「IT 日和」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■面白くない。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■今月号は、タイムリーなテーマで、非常に面白かったです。各業界のトップ研究者に、研究のための情報処理技術の解説を行ってほしいと思います。(匿名希望)

■全面カラー、サイズが小さくなって素晴らしい。紙質についてもこれで十分と感じる。(匿名希望)

■今年の論文 100 選のような企画があれば読みたいです。各分野で重要な貢献があったものがまとまっていると興味深いです。(匿名希望)

■アンケート評価記事の順番を冊子に現れる順にしていきたいです。特に《連載漫画》IT 日和。(匿名希望)

■ジュニア会員向けに、中学校や高校のコンピュータ関係の部活の取材などあれば読んでみたいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■写経プログラミングと日本語学習(たとえば小学校など)との間に相関があるかとも思いました。(匿名希望)

■内容とは関係ないが、会誌の紙質が大きく変わり、随分安っぽい印象になってしまった。経費削減は理解できるが、これまでの紙質が立派で心地良かっただけに、長年慣れ親しんだ感触が失われて残念。(南谷 崇)

■小特集の各記事は評価対象でなかったり、IT 日和は 33 ページ掲載なのに評価では末尾だったり、回答しにくいように感じる場合があります(特にスマホなどの狭い画面の場合)。構成のためページが変わったりして難しいかもしれませんが、ご一考いただけますと幸いです。(匿名希望)

■現在どのような課題が学会でホットになっているかを概観する記事があると、情報処理に関する俯瞰的な見方ができていいのではと思っています。(匿名希望)

■変更になった紙は非常に読み辛いです。カラー化のために紙質が犠牲になるのであれば、モノクロに戻す方が助かります。(匿名希望)

■小学生でも分かるような AI の解説を特集してほしいです。(神長和花/ジュニア会員)

■ブロックチェーン研究の最新の動向が知りたい。(梅田直希/ジュニア会員)

■ジュニア会員が執筆する記事が 1 ページでもあればいいと思う。もしくは、1 月に 1 ページでもいいのでジュニア会員向けの情報などがまとめられたページがあってもいいと思う。たとえばプログラミングの学習方法など。(匿名希望/ジュニア会員)

【本欄担当 真野 健, 中野圭介/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後よりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

| 開催日 | 名 称 | 論文等応募締切日 | 参加締切日 | 開催地 |
|-----------|--|----------|-------------------------|--|
| | 東海支部2017年度 学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/jigyuu/shourei/ | 3月15日(木) | | |
| | 論文誌「未来の暮らしを支えるパーベイシブシステムと高度交通システム」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-C.html | 3月31日(土) | | |
| | 論文誌「全ての人とモノがつながる社会に向けたコラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-D.html | 4月2日(月) | | |
| | 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-F.html | 4月20日(金) | | |
| | 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-H.html | 4月27日(金) | | |
| | デジタルプラクティス「情報分野における標準の戦略と実践」特集 論文募集 https://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp1001s.html | 5月7日(月) | | |
| | 論文誌「若手研究者」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-K.html | 5月30日(水) | | |
| | 論文誌「レジリエントな情報システム構築によるインターネットと運用技術」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-J.html | 6月18日(月) | | |
| | 論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-E.html | 8月1日(水) | | |
| 3月13日(火)～ | 情報処理学会 第80回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/80/ | 12月5日(火) | 当日可 | 早稲田大学 西早稲田キャンパス |
| 3月15日(木) | | | | |
| 3月16日(金) | 第11回高齢社会デザイン研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/asd11.html | 2月8日(木) | CareWeek 展示閲覧のため事前登録を予定 | 東京ビッグサイト |
| 3月16日(金)～ | 第177回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci177.html | 1月22日(月) | 当日のみ | 明治大学 中野キャンパス |
| 3月17日(土) | | | | |
| 3月17日(土)～ | 第144回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce144.html | 1月28日(日) | 当日のみ | 獨協大学 |
| 3月18日(日) | | | | |
| 3月19日(月)～ | 第104回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn104.html | 1月31日(水) | 当日のみ | 筑波大学(筑波キャンパス春日地区) |
| 3月20日(火) | | | | |
| 3月21日(水)～ | 第24回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle24.html | 1月26日(金) | 当日のみ | 京都大学 学術情報メディアセンター |
| 3月22日(木) | | | | |
| 3月26日(月) | 第191回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics191.html | 2月23日(金) | 当日のみ | 静岡大学 浜松キャンパス |
| 3月27日(火) | 第130回情報基礎とアクセス技術・第108回ドキュメントコミュニケーション合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat130dc108.html | 2月12日(月) | 当日のみ | 東京工業大学 大岡山キャンパス |
| 5月7日(月) | 第164回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc164.html | 3月6日(火) | 当日のみ | 東京工業大学 大岡山キャンパス |
| 5月10日(木)～ | 第212回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim212.html | 3月9日(金) | 当日のみ | 大阪大学吹田キャンパス 銀杏会館 |
| 5月11日(金) | | | | |
| 5月10日(木)～ | 第105回グループウェアとネットワークサービス・第28回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn105spt28.html | 3月9日(金) | 当日のみ | 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス |
| 5月11日(金) | | | | |
| 5月24日(木)～ | 第175回マルチメディア通信と分散処理・第87回モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム・第73回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps175mbl87its73.html | 3月15日(木) | 当日のみ | イーフ情報プラザ (沖縄県島尻郡) |
| 5月25日(金) | | | | |
| 5月25日(金)～ | 第168回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al168.html | 3月9日(金) | 当日のみ | 名古屋工業大学 |
| 5月26日(土) | | | | |
| 5月28日(月)～ | The 2nd. cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG 2018) http://xsig.hpcc.jp/2018/ | 2月16日(金) | | 一橋講堂 |
| 5月30日(水) | | | | |
| 6月7日(木)～ | 第119回プログラミング研究発表会 https://sigpro.ipsj.or.jp/pro2018-1/ | | 当日のみ | 岐阜大学 サテライトキャンパス |
| 6月8日(金) | | | | |
| 7月4日(水)～ | マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2018) シンポジウム http://dicomo.org/ | 3月20日(火) | | 福井県芦原温泉清風荘 |
| 7月6日(金) | | | | |
| 7月30日(月) | 第119回数理解モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps119.html | | 当日のみ | Luxor "MGM Resorts International" (ラスベガス) |
| 9月3日(月)～ | The 13th International Workshop on Security (IWSEC2018) http://www.iwsec.org/2018/ | | | 東北大学 片平さくらホール |
| 9月5日(水) | | | | |

| 開催日 | 名 称 | 論文等応募締切日 | 参加締切日 | 開催地 |
|-----------------------|--|----------|-------|--------------------------------|
| 9月19日（水）～ 9月21日（金） | FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2018/ | | | 福岡工業大学 |
| 10月5日（金）～ 10月8日（月） | The 11th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU 2018) http://www.icmu.org/icmu2018/ | | | Unitec Institute of Technology |
| 2019年 | | | | |
| 1月21日（月）～ 1月24日（木） | 24th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC 2019) http://www.aspdac.com/aspdac2019/ | | | 日本科学未来館 |



Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月15日 人材募集情報 (Vol.59 No.3)
- 2月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.59 No.3)
- 2月14日 論文誌「レジリエントな情報システム構築によるインターネットと運用技術」特集 論文募集
- 2月9日 第80回全国大会聴講参加事前予約の締切を延長しました
- 2月8日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 2月8日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
- 2月8日 論文誌「若手研究者」特集 論文募集
- 2月5日 デジタルプラクティス「情報分野における標準の戦略と実践」特集論文募集
- 2月1日 2018年度役員改選の投票について
- 2月1日 2018年度代表会員の選出について
- 1月19日 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集 論文募集
- 1月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.59 No.2)
- 1月12日 第80回全国大会 一般・学生セッションプログラム (簡易版) を公開しました
- 1月10日 [プレスリリース] 人工知能に関わる国際標準化がスタート

人材募集 (有料会告)

有料会告

申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000円（税込 21,600円）
賛助会員（企業） 税抜 30,000円（税込 32,400円）
賛助会員以外の企業 税抜 50,000円（税込 54,000円）
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000円（税込 4,320円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし3日以内（土日祝日除く）に返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国立研究開発法人情報通信研究機構

情報通信研究機構は、将来のICTに関する研究開発を担う人材を公募します。観る（センシング）、繋ぐ（ネットワーク）、創る（データ活用）、守る（サイバーセキュリティ）、拓く（フロンティア）の各分野と、それに加えて異分野融合・分野横断型の新たな情報通信イノベーションへの取り組みにも期待します。また修士課程修了などの若手や女性の採用も積極的に行います

募集人員 研究職員（パーマレント研究職員またはテニュアトラック研究員）および、パーマレント研究技術職員を合わせて十数名程度

着任時期 原則として2019年4月1日

募集分野 (1) センシング基盤分野、(2) 先端的ネットワーク分野、(3) 情報解析・利活用分野、(4) ICTセキュリティ分野、(5) ICTフロンティア分野、(6) 情報通信に関する多様でイノベティブな技術開発推進

応募書類 ●研究職員：(1) 訪問票（当機構指定様式[※]）、(2) 研究経歴書（要約を含む）、(3) 論文リスト（誌上発表および口頭発表別）、(4) 主要な研究業績（主な著書あるいは論文3点程度・別刷・コピー可）、(5) 研究計画書

●研究技術職員：(1) 訪問票（当機構指定様式[※]）、(2) 経歴書（要約を含む）、(3) 主要な業績等、(4) 保有する資格・免許・特殊技能等

※訪問票の様式は機構 Web ページからダウンロードしてください。そのほかは様式自由です

応募締切 2018年4月13日（17時必着厳守）

*書面による提出（郵送・宅配便等）のみ受付となります

照会先 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1

国立研究開発法人情報通信研究機構総務部人事室人事グループ

採用担当 E-mail: jinjig@ml.nict.go.jp

Tel(042)327-7304 Fax(042)327-7590

その他 本公募に関する詳細は、必ず機構 Web ページ (<http://www.nict.go.jp/employment/index-top.html>) をご確認ください

■神奈川工科大学創造工学部自動車システム開発工学科

募集人員 教授または准教授（いずれも特任を含む）1名

専門分野 次世代自動車における知能化、知能化の基盤技術およ

び関連分野、情報・通信・制御

担当科目 次世代自動車情報通信、次世代自動車制御、自動車のための情報・通信入門、次世代自動車開発プロジェクトなど。ただし、専門以外でも、基礎科目、自動車関連科目を担当してもらう場合がある

応募資格 (1) 自動車技術の全体像を理解し、博士の学位を有するか、あるいはそれに相当する実績を有すること、(2) 大学院の教育・研究を担当できること

※そのほかの条件については下記本学 Web ページ「教職員採用情報」で確認してください

着任時期 2018年9月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 履歴書、研究・開発業績リスト、主要論文コピー、当該分野の全体展望と研究計画、照会先等。書式は下記の本学 Web ページ「教職員採用情報」から入手してください

応募締切 2018年5月19日（必着）

照会先 神奈川工科大学創造工学部自動車システム開発工学科教授 石綿良三 E-mail: ishiwata@sd.kanagawa-it.ac.jp

Tel(046)291-3111 Fax(046)242-6806

その他 詳細情報および書式、書類提出先等は、本学 Web ページ「教職員採用情報」(<http://www.kait.jp/recruit/>) を必ず参照してください

■富山大学大学院理工学研究部生命・情報・システム学域ヒューマン・生命情報システム学系 (現：工学部知能情報工学科 ※2018年4月1日工学部工学科へ改組)

募集人員 教授 1名

教育分野 大学院理工学教育部数理・ヒューマンシステム科学専攻(博士課程)、大学院理工学教育部知能情報工学専攻(修士課程)、工学部工学科知能情報工学コース

専門分野 情報・通信分野（情報科学一般、人工知能(AI)、画像工学など）、特に、医工連携した研究分野を担当できることが望ましい

担当科目 データサイエンスなどの共通基礎科目、情報科学系のコース基礎科目、人工知能や画像工学などのコース専門科目、知能情報工学実験などのコース専門科目、教養教育科目、学生の教育・研究指導、当該専門分野における大学院専門科目

応募資格 ・博士の学位を有し、大学院博士課程の授業が担当で

きること、・当該専門分野における研究業績があり、大学院修士課程および博士課程における教育・研究指導が担当できること、
・全学的活動に寄与できること

着任時期 2018年10月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類 (1) 履歴書(連絡先にE-mailアドレスを記入)、(2) 研究業績一覧(次のように分類し、分類ごとに年代の新しい順に番号を付す) ①著書、②学術論文(査読付きの原著論文)、③国際会議発表論文(査読付きに限る)、④解説、総説、⑤その他の論文、⑥特許(登録と公開の別)、⑦外部教育研究資金(科学研究費補助金、研究助成金、共同研究・受託研究等)の過去10年間の獲得状況(代表と分担の別およびその金額を明記)、⑧受賞歴、⑨学協会および社会における活動状況、(3) 主要論文別刷5編程度(コピー可)、(4) 現在までの主要研究内容と成果(A4用紙1枚1,000字程度)、(5) 今後の教育、研究に対する抱負(A4用紙1枚1,000字程度)

応募締切 2018年5月25日(当日消印有効)

送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190

富山大学大学院理工学研究部(工学)工学部知能情報工学科
長谷川英之(2018年4月1日より、工学部工学科知能情報工学コースへ改組) E-mail: hasegawa@eng.u-toyama.ac.jp
Tel(076)445-6741

封筒の表に「情報通信分野教員(教授)人工知能 応募書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送してください

*応募書類は原則としてお返しいたしません

その他 (1) 必要に応じて、別途資料を提出していただくことがあります。(2) 労働条件については、本学職員就業規則によることとします。給与は学歴・職務経験等を考慮して決定されます。(3) 本学では2015年4月1日から従来の給与制度と併用して、年俸制を導入しております。本公募による採用の際にも、採用決定者の同意のもと、年俸制を適用する可能性があります(同意されない場合は従来の給与制度を適用することとなります)。(4) 給与等に関する問合せ先は次のとおりです。国立大学法人富山大学総務部人事企画課 Tel(076)445-6524、(5) 選考の段階で面接を実施する場合があります。その際の旅費等はご自身で負担願います。(6) 本募集についてはWebページ(<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>)をご覧ください

【選考方法】書類選考後、面接を行います

●富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます

[富山大学男女共同参画推進室]

<http://www3.u-toyama.ac.jp/kyodoss/>

■筑波大学計算科学研究センター(高性能計算システム研究部門)

募集人員 准教授または助教 1名(助教の場合はテニュアトラック)

【任期】なし(助教の場合は5年間のテニュアトラック期間の最終年度にテニュア獲得審査を行い、合格するとテニュア付き助教となります)

専門分野 HPC・ビッグデータ・AIにおけるシステムソフトウェア

職務内容 計算科学研究センターでは、計算機科学と計算科学の研究者が協力してスーパーコンピュータの設計を行い、計算科学・ビッグデータ・AIを推進しています。本公募は、計算科学・ビッグデータ・AIにおけるフレームワーク、並列I/O、ストレージシステムに関する研究、スーパーコンピュータのコードデザインを行っ

ていただける方を求めます。着任後は意欲的にアプリケーション分野とも連携していただける方を希望します。また、情報学群情報科学類ならびにシステム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻において、教育・研究指導を担当していただきます

応募資格 博士の学位を有し(着任時期までに取得見込可)、専門分野において優れた研究業績があり、HPC・ビッグデータ・AIにおけるシステム研究と大学院・学類における研究・教育に熱意を有する方

着任時期 決定後できるだけ早い時期

提出書類 (1) 希望職位(「准教授希望」「助教希望」「准教授または助教希望」のいずれか)、(2) 履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、(3) 業績リスト(査読論文とその他を区別すること)、(4) 主要論文別刷5編(うち4編以上は最近5年以内のもの)、(5) これまでの研究の概要(主要論文を適宜参照し1,500字程度)、(6) 着任後の研究計画と教育に関する抱負(1,500字程度)、(7) 外部資金の獲得状況、(8) 意見書2通以上、または照会可能者2名以上の氏名・所属・連絡先

以上について、紙媒体とともにUSBメモリなどのデジタル媒体にPDF形式で記録したものを同封してください。書類選考の後、面接選考(プレゼンテーション含む)を実施します

応募締切 2018年5月31日(必着)

照会先 計算科学研究センター高性能計算システム研究部門 建部修見 E-mail: tatebe@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-6484

送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学計算科学研究センター長 梅村雅之

封筒には「計算科学研究センター高性能計算システム研究部門教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留か宅急便で送付してください

*応募書類とデジタル媒体は返却しません

その他 計算科学研究センターは、文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されており、計算機共同利用を含む学際計算科学を推進しています。筑波大学では男女雇用機会均等法を遵守した人事選考を行っています

■トヨタ自動車(株)

募集人員 正社員 数名

専門分野 情報工学または関連分野

応募資格 (1) 2019年3月卒業見込みの博士後期課程在学者、または、博士/修士の学位保有者、(2) かつ、下記について1つ以上の実務(研究)経験がある方

- ・コンピュータビジョン(3次元計測、センサ信号処理含む)、SLAM、数理統計、計算物理、データ・サイエンス、機械学習、知識モデリング、パス・プランニング等の知能化技術
- ・新しいアイデアを大規模なソフトウェアに組み込み、評価・開発が進められるソフトウェア開発技術(C/C++での開発能力は必須)

仕事内容 自動運転技術の研究・開発(知能化技術)

応募締切 2018年5月31日

その他【勤務地】 東京都、静岡県 ※愛知県のほか、国内・海外の事業所・関連施設への転勤の可能性あり

応募は当社Webページ(<http://www.toyota-careers.com/>)から受け付けます

応募内容の詳細は、当社Webページをご覧ください

CONTENTS

Preface

- 314 **Human Resource Development for IoT**
Yasuhiko YASUDA (President of MCPC)
- 316 **Message from the Newly Appointed Chief Editor : Information Processing X**
Masahiko INAMI (The Univ. of Tokyo / JST ERATO)

Special Article

- 318 **Quantum Computer**
Kae NEMOTO (National Institute of Informatics)
- 324 **Coincheck, Cryptocurrency Exchange, Shock - Safety Risk of Cryptocurrency -**
Masanori KUSUNOKI (Japan Digital Design Inc.)

Special Features

My Turning Point : I Decide My Career with This

- 328 **0. Foreword**
Yuki IGARASHI (Meiji Univ.)
- 330 **1. My First Career Move**
Akira TAJIMA (Yahoo Japan Corp.)
- 331 **2. OHP Carrying Decided My Career as a Data Engineering Researcher**
Yasuhiko KANEMASA (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 332 **3. A Collaborative Research Project that Determine My Career Direction**
Yu HIRATE (Rakuten, Inc.)
- 333 **4. Chance-Driven Life**
Hirofumi SEO (SCIENT, Inc. / The Univ. of Tokyo / Kyoto Univ. of Art & Design)
- 334 **5. From Company to University - Changed was not Myself but Organization**
Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)
- 335 **6. Four Turning Points on My Path to ICT Education**
Eriko UEMATSU (Musashino Gakuin Univ.)
- 337 **7. A Story that the Research was Failed because It was too Big Theme**
Yasunori HARADA (Digital Pocket LLC.)
- 338 **8. "Birds of a Feather" Building My Career**
Mori KUROKAWA (KDDI Research, Inc.)
- 339 **9. From Experience in Information and Communications Administration**
Masatoshi NOZAKI (Ministry of Internal Affairs and Communications)
- 340 **10. How I become a Publisher with Gauche**
Keiichiro SHIKANO (Lambda Note Ltd.)
- 341 **11. Your Great Sensitivity to Social Demands Brings You to a Top-notch Engineer**
Minoru ETOH (Osaka Univ.)
- 342 **12. Determination of Career Directions based on Passionate Interest Emerged from Encounters**
Minoru SHINOHARA (Georgia Institute of Technology)
- 343 **13. Pantoscopic**
Miki ENOKI (IBM Research - Tokyo)
- 344 **14. My Cats Made Me Who I am**
Kyoko YONEZAWA (Dentsu Inc.)
- 345 **15. The Seemingly-unattainable Dream I had at the Age of 20**
Yuzu SAIJO (Google Japan G. K.)
- 346 **16. To be a Yukichi Fukuzawa in 21 Century**
Yusuke MIZUNO (Life is Tech, Inc.)

- 347 **17. Turning Point Stem from an Encounter with People**
Asako KIMURA (Ritsumeikan Univ.)
- 348 **18. From a Wild Researcher to a Professional Researcher**
Masahiko INAMI (The Univ. of Tokyo / JST ERATO)
- 350 **19. The Crossroad of My Life**
Maki KOMURO (Switch Education, Inc.)
- 351 **20. Starting an Educational Venture Company in India - What I Can Do for a True Infrastructure -**
Takanobu TANAKA (Shin Edupower Pvt. Ltd.)

Information Society - Issues That are There Now -

- 354 **0. Foreword**
Masahiro SUGAWA (Niigata Univ.)
- 356 **1. The Project for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games**
Yasuyuki NOMOTO (Secretariat of the Headquarters for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games, Cabinet Secretariat)
- 357 **2. The Future of CISRT - To Keep in Touch with Endless Cyber Security -**
Masato TERADA (Hitachi Ltd.)
- 358 **3. Management Have to Make Better Use of Information System Audit - Management that Can Utilize Information System Audit will Make the Company's Growth in the Future -**
Mitsuhiko MARUYAMA (Deloitte Tohmatsu Risk Services Co., Ltd.)
- 359 **4. Ecosystem of Standards**
Yonosuke HARADA (Institute of Information Security)
- 360 **5. A New Era of Blockchain The Future of Virtual Currency**
Hitoshi OKADA (National Institute of Informatics)
- 362 **6. Why Many Japanese Schools are not Connected to ICT?**
Takeo TATSUMI (The Open Univ. of Japan)
- 363 **7. More Women Engineers in Cyber Security**
Haruka SUZUKI (LAC Co., Ltd.)
- 364 **8. The Combat Against Darkmarket**
Takashi MATSUMOTO (SCSK Corp.)
- 365 **9. Future Prospects of Social Media and News**
Shinya ICHINOHE (Keiwa College)
- 367 **10. Desired Reality in the Future Broadcasting Services**
Shuichi AOKI (Science and Technology Research Labs, NHK)
- 368 **11. In the Age of Automated Vehicles, Cars will Become Railroads?**
Naonori KATO (KDDI Research, Inc.)
- 369 **12. Medical Informatics and Globalization : Future of Medical Engineering without Compromises**
Emi YUDA (Nagoya City Univ. Graduate School of Medical Sciences)
- 370 **13. The Dilemma of Telework - Things to Think before Promoting Telework -**
Kenji YOSHIMI (Bukkyo Univ.)
- 371 **14. Toward Utilization of Public Data**
Masami HONDA (Tokyo Institute of Technology)
- 373 **15. "Individual Number Card" in the Future**
Taro KOMUKAI (Nihon Univ.)
- 374 **16. A Relationship between Installation of ICT on Civil Procedure and Justice**
Satoshi HASHIMOTO (Tokushima-Bunri Univ.)

- 375 **17. IP Strategy in the IoT Era**
Mitsuyoshi HIRATSUKA (Tokyo Univ. of Science)
- 376 **18. Proposition Remaining in Cyber Crime Countermeasures Legislation - Things Necessary to Confront Organized Criminal Groups -**
Masahiro SUGAWA (Niigata Univ.)
- 378 **19. Processing and Handling of Big Data - The Role and Use of "Anonymously Processed Information"**
Atsushi KUROMASA (Fujitsu Cloud Technologies Ltd.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 327 **Development and Evolution**
Kiyoshi ITOH

"Peta-gogy" for Future

- 381 **What New ICT Brings to Education**
Toshimitsu MASUZAWA (Osaka Univ.)

- 382 **Reason for Supporting Science and Technology Students Learning State-of-the-art Technology with Public-private Partnership**
Chikara FUNABASHI (Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology)
- 384 **Importance of Study Abroad and Internship on Information Processing**
Hiroshi SAKUMA (Osaka Univ.)

- 386 **Biblio Talk**
388 **Conference Report**
389 **Conference Report**

2017 年度マイクロソフト情報学研究賞の表彰

本会では、日本マイクロソフト株式会社の協力により、情報処理の研究・開発に携わる優秀な若手研究者を顕彰するため、「マイクロソフト情報学研究賞」を設けております。

本賞は、情報学の主要な分野で、その研究・開発において国際的に顕著な貢献が認められ、今後もその進歩・発展が期待される若手研究者で、日本国内の大学および公的研究機関に所属し、推薦締切日時点で本学会正会員として3年以上を経過し博士号取得後10年以内の者に贈呈するものです。

本年度の受賞者は「マイクロソフト情報学研究賞候補者推薦書」により推薦された候補者のうち、表彰規程およびマイクロソフト情報学研究賞候補者選定手続きに基づき、東野副会長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認（2018年1月31日付、定款上の理事会決議の省略手続きによる）を得て、下記の2君に決定されました。

受賞者には、本会表彰規程により、3月13日に開催された第80回全国大会において、表彰状および賞金が授与されました。

- 「チップ内からデータセンサ規模に至るマルチスケールな相互結合網の研究」
松谷 宏紀君（正会員）
- 「定数時間アルゴリズムの研究」
吉田 悠一君（正会員）



訂正

本誌 58 巻 12 号（2017 年 12 月号）の小特集「デジタルグリマングとは何か」の一部を著者の申し出により訂正いたします。

P.1087 右段 30 行目

(誤) 民主党支持者へのフォローが 23%

(正) 共和党支持者へのフォローが 23%

ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出ください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みにになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2018年4月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：IoT人材育成に向けて…………… 10-1- []
巻頭言：編集長就任にあたって 情報処理 X…………… 10-2- []
特別解説：量子コンピュータ研究の現在と展望…………… 10-3- []
特別解説：コインチェック騒動…………… 10-4- []
IT好き放題：発達、開発 (development) と進化 (evolution) という言葉…………… 10-5- []
小特集：私のターニングポイント…………… 10-6- []
小特集：情報社会…………… 10-7- []
ペタ語義：新たな ICT が教育にもたらすもの…………… 10-8- []
ペタ語義：最先端テクノロジーを学ぶ理系学生の留学を官民協働で支援する理由…………… 10-9- []
ペタ語義：情報処理分野における留学とインターンシップの重要性…………… 10-10- []
ピブリオ・トーク：SOFT SKILLS ソフトウェア開発者の人生マニュアル…………… 10-11- []
会議レポート：EMNLP 2017 参加報告…………… 10-12- []
会議レポート：SPLC 2017 参加報告…………… 10-13- []
連載漫画：IT 日和…………… 10-14- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
[11-1] 良かった記事…………… 11-1- []
[11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家…………… 11-2- []
[11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）…………… 11-3- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 12-1- []
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 [12-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 私のターニングポイント：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
 [13-2] 情報社会：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

| 担当 | E-mail | Tel(ダイヤルイン) | 取り扱い内容 |
|------------|--|--------------|---|
| ■ 会員サービス部門 | | | |
| 会 員 | mem@ipsj.or.jp | 03-3518-8370 | 入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館 |
| ■ 会誌編集部門 | | | |
| 会誌編集 | editj@ipsj.or.jp | 03-3518-8371 | 会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産） |
| 著作権 | copyright@ipsj.or.jp | | 転載許可，著作権 |
| デジタルプラクティス | editdp@ipsj.or.jp | | デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート |
| 図 書 | tosho@ipsj.or.jp | 03-3518-8374 | 出版物購入 |
| ■ 研究部門 | | | |
| 論文誌 | editt@ipsj.or.jp | 03-3518-8372 | 論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読 |
| 調査研究／国際／教育 | sig@ipsj.or.jp | | 研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，アクレディテーション対応 |
| ■ 事業部門 | | | |
| 事 業 | jigyo@ipsj.or.jp | 03-3518-8373 | 全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援 |
| 技術応用 | event@ipsj.or.jp | | 連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアアジア，その他講習会 |
| 認定情報技術者制度 | ipsj.citp@ipsj.or.jp | | 認定情報技術者制度 |
| ■ 管理部門 | | | |
| 総務／庶務 | soumu@ipsj.or.jp | 03-3518-8374 | 総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード |
| 経 理 | keiri@ipsj.or.jp | | 出納，送金連絡 |
| システム企画 | sys@ipsj.or.jp | | システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPJSJ メールニュース |
| ■ 情報規格調査会 | | | |
| 規格部門 | 問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html | | ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/ |

本小特集は年末から年始にかけて企画・執筆・編集作業を進めた。昨年同時期(2017年5月号)に「博士課程進学の特集・メリット・デメリット」という特集が組まれたことを覚えていらっしゃるだろうか。この特集は非常に評判がよく、モニタ読者のみなさまから高評価をいただいた。今回の特集の編集を担当したのは、「博士メリット」の女子部三人衆(五十嵐編集委員、土井編集委員、辻田編集委員)+私である。しかしながら私は、編集作業終盤にインフルエンザB型で5日間寝込み、さらに1日明けて娘もインフルエンザB型に感染し、気管支炎・軽い肺炎にまで悪化してしまった。私は高熱の中「インフルエンザに感染しました」と三人衆にメールし、およそ2週間まったく仕事ができなかった。そんな中、三人衆は「分かりました!

しっかり休んでください! 私たちが代わりに坊農さんの分を担当します!」と私が貯めていたすべての編集作業を引き受けてくださった。とにかくそのパワフルさに支えられながら、掲載の日を迎えられて本当にホッとしている。私が閲読させていただいた原稿はどれもパワーに満ち溢れていて、読んでいて本当にワクワクした。ターニングポイントは、「いまそのとき」と分かる類いのものもあれば、後から振り返って「ああ、あのときの決断がいまにつながっている」と感じる類いのものもある。十人十色のターニングポイント、ぜひ1つ1つの記事に書かれたパワーを感じ取っていただきたいと思っている。

(坊農真弓/本小特集エディタ)

情報技術の報告や論文を読んでいると、結びの部分に「この問題については法律が未整備である」とか「政治や行政での解決が望まれる」という言葉で締めくくられているものをよく見かける。『言うに易し、行うに難し』とはまさにこのことで、法学者や社会学者はその具体的な立法や政策を組み立てるのに日々多大な苦勞をしている。それならばいっそうのこと、その苦勞の一環を少しでも知らせればと、さまざまな課題(つまりはトラブルのもと)をざっと列挙してみたものが、今回の小特集である。技術

開発と同じで『言うに易し、行うに難し』が少しでも分かっていたら幸いである。そして、今回の担当者に限らずこの分野に携わる人はおおむね皆、遅筆である。それはなぜか。少しでも最新の話題を提供したいから。事実今回も、企画を立て執筆依頼をした後で、取り上げたテーマに関する問題や事件が多く報じられている。読者の皆様、「生ものです。お早めにご賞味ください!」

(須川賢洋/本小特集エディタ)

次号(5月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「小特集」サービスエクセレンス

サービスエクセレンスとは—サービス標準化に向けて—/サービスの概念~エクセレンスに至る規格開発/サービスエクセレンスに向けた人間工学の動向と関連規格/サービスエクセレンスに向けた産業界の取り組み—総合建設業/小口保冷配送サービスの成長可能性と国際規格の開発—BSL/PAS1018の策定と今後の展望—/サービスエクセレンス分析における公平性

「小特集」匿名加工とプライバシー保護

匿名加工とは何か—基本技術とリスク—/匿名化に係る制度の国際的な動向/匿名加工の法制度/匿名加工・再識別コンテスト—世界唯一の対戦型データ匿名加工コンテストPWS Cup—/匿名加工再識別コンテストの加工アルゴリズム—PWS Cup 2017 優勝チームより—/再識別リスク—仮名化,一般化,そしてk-匿名化の再識別リスクの考え方(の1つ)—

教育コーナー:ぺた語義

連載:IT日和/5分で分かる!?有名論文ナメ読み/ビブリオ・トーク

コラム:巻頭コラム/シニアコラム:IT好き放題/リレーコラム

会議レポート:UIST2017参加報告/ASSETS 2017参加報告

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写は必要ありません。(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先:一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。
また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

| 掲載場所 | 4色 | 1色 |
|--------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 表2 | 330,000円 (税込356,400円) | — |
| 表3 | 275,000円 (税込297,000円) | — |
| 表4 | 385,000円 (税込415,800円) | — |
| 表2対向 | 300,000円 (税込324,000円) | — |
| 表3対向 | 265,000円 (税込286,200円) | 155,000円 (税込167,400円) |
| 前付1頁 | 250,000円 (税込270,000円) | 135,000円 (税込145,800円) |
| 前付1/2頁 | — | 80,000円 (税込86,400円) |
| 前付最終 | — | 148,000円 (税込159,840円) |
| 目次前 | — | 148,000円 (税込159,840円) |
| 差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚) | 275,000円 (税込297,000円) | |
| 差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚) | 350,000円 (税込378,000円) | |
| 同封 (A4変形判 1枚) | 350,000円 (税込378,000円) | |

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 59巻4号 掲載広告 (五十音順)

- MCPC 検定事務局 表3 オージス総研 表2対向
 インタフェース 表2

すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google

グーグル (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)

IA japan

(一財) インターネット協会

TIC Telecommunication Technology Committee

(一社) 情報通信技術委員会

GREE

グリー (株)

Rakuten

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

TREND MICRO

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

TT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

SANBI

三美印刷 (株)

Septeni

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

team Lab

チームラボ (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク